



学校だより 3月号 MAR

平成29年2月28日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する鴨志田緑の子 ~ふれあい かがやき 豊かな心~

人との関わりから

学校長 小倉 早苗

桜の花芽がわずかにふくらみ始めた今日この頃です。春の訪れも間近となりました。

早いもので、今年度、最後の月を迎えます。地域の皆様、保護者の皆様には、今年度も子どもたちのため、学校のために、多くの温かいご協力やご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

現在学校では、今年度のまとめと、卒業や進級に向けての様々な準備や取り組みを進めています。特に、今年1年間、最上級生として、全校のみんなを一生懸命リードしていた6年生に対しては、下級生が、いろいろな場面で、いろいろな形で、感謝の思いを伝えています。在校生の憧れの存在であり、とても頼もしい存在であった6年生への思いは、大変深く厚いようです。感謝の思いを受けとめた6年生にとっては、大きな自信となりますし、下級生にとっては、「自分もああいう6年生になりたい」という未来像を描くことができます。そうやって子どもたちは、一段また一段とステップを上りながら成長していきます。この時期、子どもたちのそんな姿をたくさん目にすることができ、大変嬉しい気持ちになります。

2月14日に、近隣の幼稚園の年長組の園児が来校しました。年長のお友だちをお迎えして交流をリードするのは、1年生の子どもたちです。普段は小学校で一番の年下ですので、6年生をはじめとする上級生から、優しく温かく声をかけてもらったりサポートをしてもらったりしています。しかし、この日はいつもと表情が変わり、一人ひとりキリッと引き締まっていました。しっかりした姿勢、立派なメッセージ、そして丁寧で優しい接し方で、年長のお友だちをリードしていました。これまで自分たちが上級生にリードしてもらってきた経験を生かしながら、とても頼もしいお兄さんお姉さんぶりでした。最後に、幼稚園のお友だちをお見送りした後の、1年生の満足感一杯のほっとした表情が微笑ましく感じられました。

学校では、一人ひとりのいろいろな力を高めるための学習や活動も勿論行いますが、集団の中で人と関わりながら学んだり力を身に付けたりする機会も、非常に多くあります。それは、同級生や同じ学年の友だち同士のことでもありますし、上級生や下級生の異学年同士であることもあります。また時には、地域の皆様や、外部のいろいろな機関の方々から、様々なことを教えていただくこともあります。今年度、子どもたちは、どれだけたくさんの人と、どれだけたくさんの関わりをもつことができたでしょうか。その一つ一つが、子どもたちの経験となり、その経験が糧となっていくことと思います。4月からの新しい生活で、それらを是非生かして行ってほしいと期待しています。

1年生ナザレ幼稚園との交流会

2月14日、ナザレ幼稚園の年長組の園児の皆さんが来校し、1年生との交流会を開催しました。1年生が、グループ毎に学校のいろいろな場所を案内したり、1年生の教室で1年生の体験活動をしてもらったり、仲良く楽しく交流を図りました。1年生は実行委員のメンバーが中心となり、自分たちで会を進行しました。大変頼もしいお兄さんお姉さんぶりでした。



2年生 かもの子農園麦踏み



2月15日、2年生がかもの子農園に出かけて、麦踏みを体験しました。『麦踏み』の意味を教わっても、育てている麦を踏んでしまうことに、当初少し戸惑っていた子どもたちでしたが、「丈夫に育つように」と思いを込めて取り組みました。

畑の先生宮里さんのお話を真剣に伺いながら、ボランティアの皆さんや保護者の方々のサポートを得て、とても貴重な体験を行いました。

2年生は1週間前の8日には、自分たちが生活科の学習で工夫して作成した『おもちゃ』で、楽しく遊ぶ活動も行いました。自分たちの工夫を友だちに一生懸命に伝え、上手に楽しみ合うことができました。2年生の頼もしさに感心させられました。

鴨志田中学校ブロック 学校保健委員会

2月22日に、鴨志田第一小学校において、鴨志田中学校ブロック3校合同の学校保健委員会が開催され、各校の保健委員会の子どもたちのほか、PTAの保護者代表の皆さんや、スクールカウンセラーの長谷川先生が参加されました。3年間、「良い姿勢で健康になろう！」というテーマのもと、3校合同での取り組みを続けてきました。3校それぞれの具体的な取り組みの様子や成果についての発表をし合いました。姿勢を良くすることは、健康な体づくりにとって大変大切なことです。子どもたちが今後も良い姿勢を意識して生活していくことを期待しています。



4年生 2分の1成人式

～ こんなに大きくなったよ！ぼく・わたし ～



2月24日に、4年生が2分の1成人式を開催しました。10歳になった自分たちの成長と、これまでお世話になった人々への感謝をテーマに、子どもたちが主体的に準備を進めてきました。全員で歌を発表したり、自分で選んだ教科のグループ発表をしたり、将来の自分の夢や希望についてや家族への感謝等についてのスピーチをしたりという各プログラムの中で、一人ひとりが、思いをしっかりと伝えました。会を進行した実行委員会のメンバーも、とてもしっかりした活動ぶりでした。

みんなで試行錯誤しながら準備や練習を進めてきました。本番も、みんなで精一杯の力を発揮し、達成感を得られたと思います。4年生の学年のパワーと、一人ひとりの成長を感じた2分の1成人式でした。

ユニセフ募金

掲示・美化委員会の呼びかけで2月14日と15日の朝、ユニセフ募金が行われました。募金に先駆けて、委員会のメンバーが、朝会で全校のみんなに、募金の目的などについてしっかりと伝えました。当日も大きな声で、登校するみんなに呼びかけをし、とても熱心な活動ぶりでした。集まったお金は15、255円でした。ご協力ありがとうございました。



KFT お別れ会

2月24日に、今年度最後のKFTの活動を行いました。1年間、かもの子グループをリードしてくれた6年生に感謝の思いを伝えるため、下級生が準備をしました。「6年生に喜んでもらいたい」と、心を込めて活動しました。6年生には、グループのみんなからメッセージカードがプレゼントされ、笑顔いっぱいでした。6年生一人ひとりからも、頼もしいメッセージが伝えられました。KFTの仲間と過ごしたことを、いつまでも忘れないでほしいと思います。



6年生を送る会

2月28日に、6年生を送る会を開催しました。5年生を主体とした児童計画委員会のメンバーと集会委員会のメンバーでしっかり進めました。毎年恒例の各学年からの発表もありました。どの学年もよく工夫されていて、6年生に思いが伝わるように、一生懸命頑張りました。6年生は『コンドルは飛んで行く』の味わい深い合奏を発表しました。

ゲームのコーナーもありました。3つの展開がある面白いゲームで、みんな仲良く楽しむことができました。心に残る素敵な会になりました。



3年生「ありがとう IACG」
ノリノリの歌とダンスでした。



6年生の合奏「コンドルは飛んで行く」
とても情感豊かな演奏でした。



5年生「ソーラン節6年生卒業おめでとうスペシャルバージョン」です。
「頑張っ！」の思いを込めて、6年生全員の名前を呼びながら力強く踊りました。



ゲームでは6年生に名刺を渡しました。